

【短報】愛媛県東予地域のヨツモンカメノコハムシ

愛媛県におけるヨツモンカメノコハムシ *Laccoptera quadrimaculata* (Thunberg) の記録は、越智・吉富 (2016)、安田 (2016)、および吉富 (2019) により報告されており、沿岸地域の低標高地を中心に南予地域から中予地域に分布を拡大していることが判っている。おそらく、高知県西部から侵入した個体群が徐々に分布拡大しているものと想定される。重藤ほか (2020) は日本国内の記録を纏めており愛媛県東部からも記録されていると書いているが、実際には愛媛県東部 (東予地域) ~香川県にかけての四国の瀬戸内東部地域では正式には記録されていない。なお、徳島県からは大原・山田 (2020) によって記録された。

サイエンスキャンプ~愛媛大学編~ (東予東部圏域振興イベント「えひめさんさん物語」) が2019年9月21~22日に西条市ふれあいの里で行われた。ここで講師を務めた吉富は、東予地域にいずれ入ってくる可能性がある昆虫類数種を紹介し、市民参加型の調査の必要性を訴えた。特にノアサガオとサツマイモをチェックすることにより調査が行えるヨツモンカメノコハムシは、調査も容易で誰でも行えるのですぐに調べて欲しいと話した。サイエンスキャンプの終了後、参加者たちがそれぞれの地域で調査を行ったところ、複数地点で生息が確認され、すでに東予地域にはヨツモンカメノコハムシが広く入り込んでいることが判明した。以下に確認地点、確認日、および確認者を記す。すべてノアサガオから得られたものである。なお、一部は採集して標本を保管しているが、多くは写真撮影のみで採集はしていない。図1にこれまでの愛媛県の記録を纏めておく。

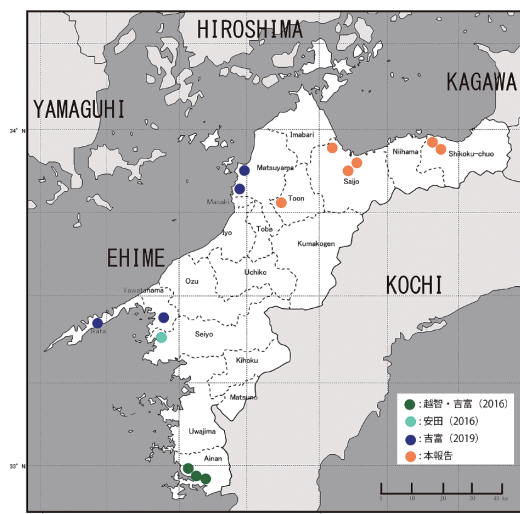


図1. 愛媛県におけるヨツモンカメノコハムシの分布状況。

東温市南方 1206, 2. X. 2019, 上田かおり; 東温市南方 750, 2. X. 2019, 上田かおり; 西条市黒瀬乙, 22. IX. 2019, 金子真琴; 西条市福武, 30. IX. 2019, 金子真琴; 西条市福成寺, 25. X. 2019, 山本貴仁; 四国中央市土居町天満, 26. X. 2019, 河端ななみ; 四国中央市土居町中村, 11. X. 2019, 吉富博之。

東予地域の今治市と新居浜市では調査を行ったものの今のところ確認できていない。また、今回は示していないがノアサガオが生育していてもヨツモンカメノコハムシが未侵入の場所が多く、当該地域では侵入初期であると考えられる。分布拡大の状況から考えて、香川県にも侵入している可能性が高いと考えられ、早急の調査が望まれる。

本報告はサイエンスキャンプ参加者がデータを持ち寄り代表して吉富が取り纏めたことを特記しておく。末筆ながら、サイエンスキャンプの実施ならびにデータの取り纏めにご協力頂いた NPO 法人西条自然学校の山本貴仁氏にお礼申し上げる。

引用文献

- 越智あずさ・吉富博之, 2016. 四国に分布拡大したヨツモンカメノコハムシ. さやばねニューシリーズ, (21): 53-56.
大原賢二・山田量崇, 2020. 徳島県で確認されたヨツモンカメノコハムシ. 徳島県立博物館研究報告, (30): 101-103.
重藤裕彬・末長晴輝・南 雅之・渡部晃平, 2020. ヨツモンカメノコハムシの分布記録および日本国内、特に琉球列島における分布の現状. ホシザキグリーン財団研究報告, (23): 227-243.
安田昂平, 2016. 愛媛県におけるヨツモンカメノコハムシの新分布. 月刊むし, (549): 41.
吉富博之, 2019. 愛媛県に定着したヨツモンカメノコハムシ. さやばねニューシリーズ, (35): 10-11.

(吉富博之 愛媛大学ミュージアム)

【短報】九州におけるムキヒゲホソカタムシ4種の記録

記録の少ない微小なムキヒゲホソカタムシ科甲虫4種について、筆者らは今までに記録のないと思われる地域で採集しているため、頂いたデータと合わせて以下に報告する。なお、以下に記録する個体はいずれも良好な照葉樹林内において、広葉樹立ち枯れの噴霧法で得られたものである。

本稿を作成するにあたり、ヒメミスジホソカタムシの貴重な採集データを提供して下さった西真弘氏 (奄美市) 並びに標本を検鏡する機会をくださった秋田勝己氏 (津市), 九州における記録についてご教示くださった今坂正一氏 (久留米市), 一部調査に同行させていただいた笹岡康則 (宮崎市) に深